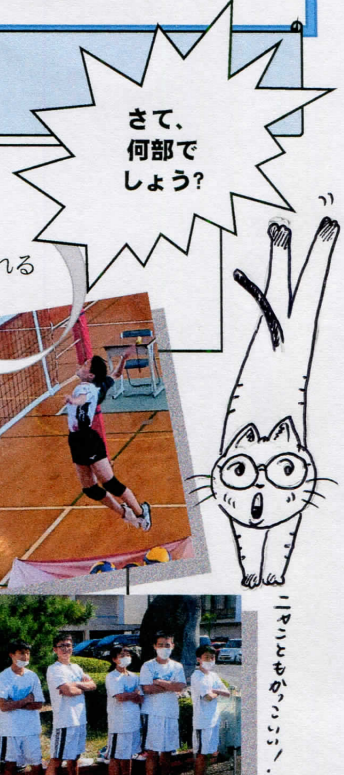


「短歌」で読む法中の活躍 ～新人戦編～

9月29日(金)・30日(土)・10月3日(火)に西部地区秋季総合体育大会が、そして10月1日(日)には吹奏楽ソロコンテストが各地域で開催されました。念願の優勝を果たした生徒、自己新記録が出た生徒、負けたけどずっと練習していたプレーができた生徒、人数が少なくても他校と合同で出場した生徒など各部の事情は異なりますが、一人一人の成長が如実に感じられる二日間でした。どうしても時間帯が重なり見られなかった試合もありますが、今回は生徒たちの一生懸命の姿を、五七五七七の「短歌」にしたためてみました。

- ☆ラスト一周知らせる鐘よ風になり 走者の背中に力を与えて
- ☆滞空のその一秒に集中し 放つアタック「ギョ」と音して
- ☆手の豆が素振りの努力を知っている 秋の空気を切り裂く快音
- ☆一球でしどめたボールは放物線 描いて消えたレフトスタンド
- ☆腕を組み闘う眼差し「俺がやる」覚悟が見えたキャプテン 4 番
- ☆楽しんでコーチの助言に笑み戻る 相手の強打にラリーで応酬
- ☆「投げる時音が一瞬消えるんです」ジャベ優勝の新人語る
- ☆凜とした空気も運も味方して 観客魅了す打楽器独奏
- ☆あと一歩走って届いてリターンする 前向きイメージ持ってコートへ
- ☆青空にヒコーキ芝生には家族 駆けよレブンゴールに向かって
- ☆上空に真っすぐ放るループの円 身体の一部となりて華あり
- ☆悔しさと感謝をばねに打ち抜いた シャトル 100 キロコートに刺さる



さて、何部でしょう?

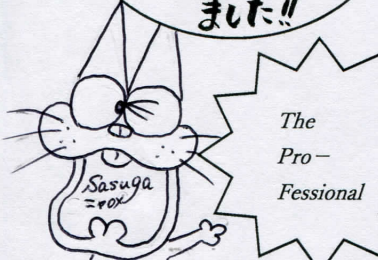
駅伝部への手紙

ようやく暑さもひと段落し、気が付けば赤とんぼが舞い始めまる季節になりました。夏休み中から準備を進め、チーム結成後からレース当日まで猛然と自分を追い込み練習してきた駅伝部のみなさん、県大会出場おめでとう。熱中症に気をつけ、筋肉痛に苦しみながらも苦しい練習にも耐え、よくがんばってきた結果だと思います。夏休み初日の第一回目TTは、3キロが16分、18分台の人もいて県大会をめざすには厳しい現実をしっかりと受け止めながら、昨年のリベンジを果たすべく、来る日も来る日も朝早くから走り込んでいましたね。日々努力していた姿は心に焼き付いています。

2学期に入るとみなさんはさらに逞しく進化し、先月の郡駅伝では自己新記録が出た人もいました。みなさんが最後の一秒まであきらめずに走る姿は、本当に美しくかっこよかったです。先週のTTでは、6分近くもタイムを縮めた人もいました。このように、一つの目標に向かって努力し、何事にも負けない体と心を身に付けてきたみなさんは、西部地区大会当日も仲間、教職員、家族の夢と希望をたすきでつなぎ、大健闘でした。自分では気が付かないかもしれないけれど、最近の皆さんの立ち姿はとても凛としています。どうかこれから新しい学校の真の「leader's」でいてください。さあ、県大会もがんばろう。



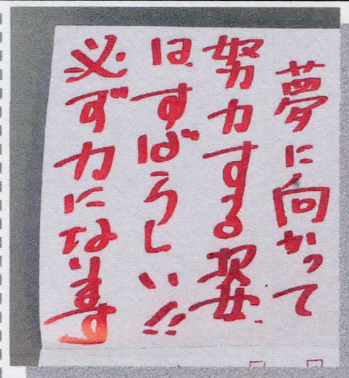
TTで(43人中)トップゴールした山下音さんの力走はチームに勇気を与えてくれました!!



The Pro-Fessional

プロ教師列伝その18 ～やる気を引き出す言葉かけ～

右の写真は、奥定非常勤講師が生徒のノートに書いた言葉です。生徒の学習状況を瞬時に判断し、個別の支援を行いながら生徒が自主的に学ぶ意欲をぐいぐい引き出しています。そしてときにはこうして視覚的に心に残る言葉をノートに書いて家庭でもやる気が継続する工夫をしています。



前向き 肯定的に...でいいね



生徒の(駅伝)名言

次は俺がメンバーに入る!勝負だ!!